



2017年10月改訂 第7版

貯法

室温保存

承認指令書番号

20動薬第3014号

販売開始

1999年7月

外耳炎・皮膚炎治療薬

テピエローション[®]

Tepie[®] lotion

テピエローションは、アミノグリコシド系抗生物質（フラジオマイシン硫酸塩はグラム陽性菌、グラム陰性菌などの幅広い細菌に強い抗菌活性を示します）、殺菌剤（イソプロピルメチルフェノール）および抗炎症剤（ヒドロコルチゾン酢酸エステル）を主体とし、これに局所麻酔剤（リドカイン）を配合したローション剤です。

これらの働きにより、外耳炎のほか、細菌性皮膚炎や急性・慢性湿疹などに効果をあらわします。

【成分・分量】

テピエローションは、10mL中下記の成分を含有し、振り混ぜると乳白色の均一な懸濁液となり、においはほとんどありません。

フラジオマイシン硫酸塩	----- 50mg (力価)
ヒドロコルチゾン酢酸エステル	----- 30mg
リドカイン	----- 200mg
イソプロピルメチルフェノール	----- 10mg

【効能・効果】

犬、猫：外耳炎、アレルギー性皮膚炎、急性・慢性湿疹、趾間炎及びその他の細菌性皮膚炎

【用法・用量】

1日1～3回適量を患部に滴下塗布する。

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、過剰にわたる連続投与は行わないこと。
- ・本剤は外用以外に使用しないこと。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

（使用者に対する注意）

- ・本剤の有効成分（フラジオマイシン硫酸塩）には人に対して起炎性があるとの報告があることから、作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないよう注意すること。



(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・食品と区別し、小児の手の届かないところに保管すること。
- ・直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しいところに密栓して保管すること。
- ・誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・使用期限を過ぎた製品は、使用しないこと。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・よく振り混ぜてから使用すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(犬及び猫に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・患部に付着しているかさぶた等は、できるだけ除去して使用すること。
- ・耳介内面及び外耳道の余分な被毛は、できるだけ除去すること。

(専門的事項)

①対象動物の使用制限等

- ・鼓膜に穿孔のある湿疹性外耳道炎に対しては使用しないこと。

②重要な基本的注意

- ・非感受性菌による化膿の憎悪の見られる場合は使用を中止すること。

③副作用

- ・本剤の長期連用により、皮膚萎縮等が現れることがある。

【包 装】

テピエローション

500mL

【製品情報お問い合わせ先】

Meiji Seika ファルマ株式会社
生物産業事業本部 動薬飼料部
〒104-8002

東京都中央区京橋二丁目4番16号

<http://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>

発売元

製造販売元

Meiji Seika ファルマ株式会社

佐藤製薬株式会社

東京都中央区京橋 2 - 4 - 16

東京都港区元赤坂1丁目5番27号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。